E. Nuhoff (コクヤ)　　1954/2

ハルコヘラ
「白い九」森本 (8)

私は「ハルコヘラ」キャンプの名目が、森本の名の数名の日本人がいた多くの婦人の中で、
特別の待遇を受けた上、独り、他から遠く離れた調べ室、何の為かは判らなかったが
2日の後の又同じ日本人の手で私他数名の名を一人一人読み上げた。
2月(20日)その日ハルト一名、別地より為の人があて留守の間に。
私は短期間をストラウス(?)が強かにやって来て話があった。ソレから他人又名共に
「コクヤ」の庫より引出され、同日中に、ゼンブで「アンバラ」から来た人々50~60名と共に
追放された。この際に古谷森本が居た。あと一人肥った将校が居たが之は別グループで
同日ケルンへ行ったそうだ。ソレから日本語で書かれた書類に署名させられた内容は
「ココで署名せよ」とあった。ソレから3名1ケ女6名1婦人と共に駐屯所に送られた。
森本は残り3名1部屋に入った。九日、van Altena 境(ベルギー国内)に着き森本1行へ
一体どうなるのか行手のまったく他に数名が駐屯所に入れられたが、日本人1名もいなかった
ことに又若しや北へ行くのではなかった。兵隊共が家族の者の最も嫌う仕事をやった。
4月3月1日、駐屯所内部は私1人の時ピストルを私脇の着る古本とスコ男と脇の1名が
やがて彼1人脇の1人とスコを私に立ちはだかり彼1人私の抱きかかえ服台の様な処へ
横に寝て私1人下着の脱がせ始めた。私の体を跳ね、叩き、引掻かれ約15分許り
格斗したが、遂にヘトヘトになり法的彼は性交を許して法的。彼1人は外へ出て
かった。(私は2晩睡眠不足状態)1晩一時他は帰り、ソノ後入れ代りが私に立ち
替わり1晩3名の日本人を呼んでは私を犯した。
名人に一晩に3名の日本人を呼んでは私を犯した。
私の8日間位前に帰り約10日が過ぎた5週間程経ってから呼ばれ
6週間程又呼ばれ10日間程経ってから開放された。之は4月26日であった
私は多くの日本人と同室を強いられた。私に対し執拗に拘束に対し何等暴力を使用
しなかった。
又数名に対し私に一時金を請求した。之は押売れたが私に呼び出されて七時間位。
現在も、森本は Thea van Driel の暴力の人々に優(コバヤシ?)の様だ。
古谷さんは1人 Miss Hoogbladen の暴力の人々は違反した。一度なぐられた。
他に皆金銭の為物かなりとられた。又数人共脱線、叫び体かかった。
私は駐屯所に居た時は約1時間に数回。

292

114